

2025/9/9 @JEPA著作権オンラインセミナー

著作権法+αの視点で考える！ —出版業界における生成AIの導入とリスク管理

骨董通り法律事務所
弁護士 出井甫

導入：本講演で掲げる理想

生成AIのリスクを受容可能な水準で管理する

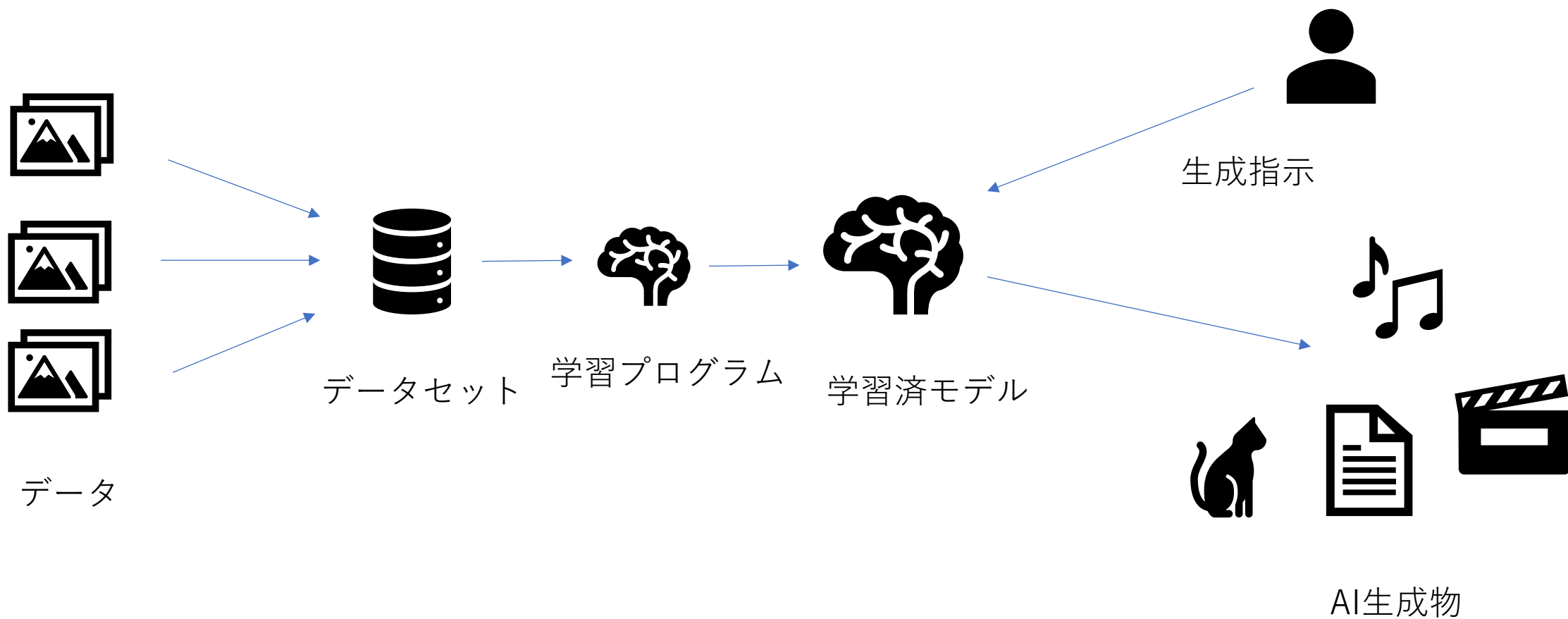
+

生成AIのメリットを最大化する

+

それを継続できる仕組みを設計し、運用する

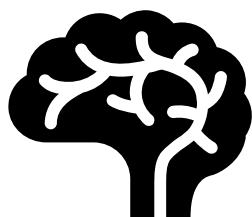
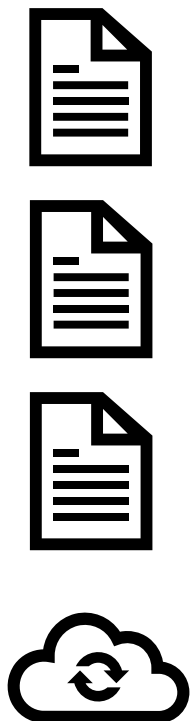
生成AIのしくみ（ざっくり）



大規模言語モデル（LLM：Large language Models）

次の文字が出現する確率（傾向）を予測

テキストデータ



学習済モデル

私の職業は・・・

- 海：5%
- 黄色：1%
- エンジニア：60%
- 保育士：20%
- . . .



翻訳

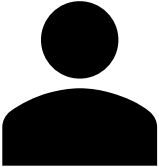
問い合わせ

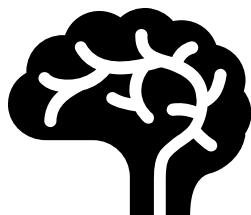
要約

など

検索拡張生成（RAG：Retrieval-Augmented Generation）

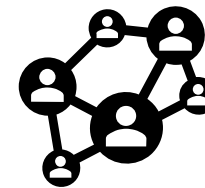
検索で得た情報をLLMで表現
ref) 追加学習（LoRA）との違い


明日の東京の
天気予報は？



学習済モデル

検索エンジン



LLM

晴れの確率が〇%です
URL：http:XXX.XXX.com

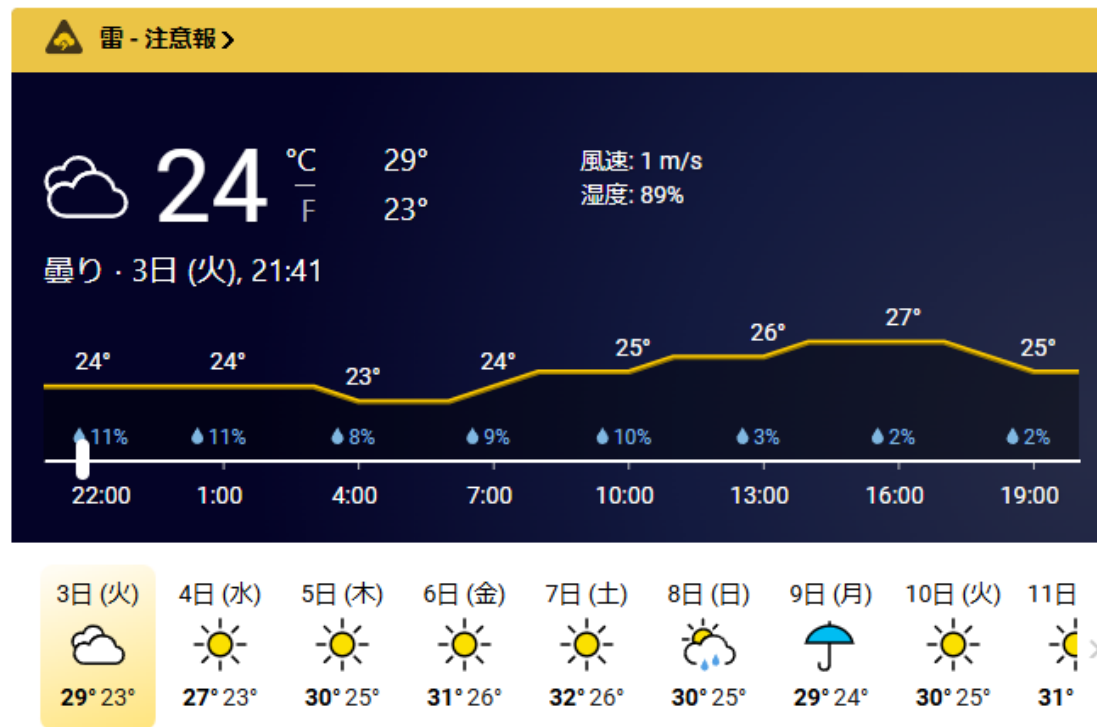
Copilot

明日の東京の天気予報は？

✓ 回答を生成しています...

明日の東京の天気は、**晴れ時々曇り**で、最高気温は**27度**、最低気温は**23度**の予報です^①。お出かけの際は、日差し対策をお忘れなく！

他に知りたいことがあれば教えてください。



[Microsoft Start 天気の詳細情報](#)



改めて、本日の流れ

- ・ 導入
- ・ 出版と生成 A I の利点とリスク
- ・ 生成AIと著作権に関する国内外の動向
- ・ 出版業界と生成AI ～個別Q&A～

出版業界における生成AIの活用場面（例）

○下書き、アイデア出し

表紙・挿絵のデザイン案、企画、翻訳など

○ディレクション

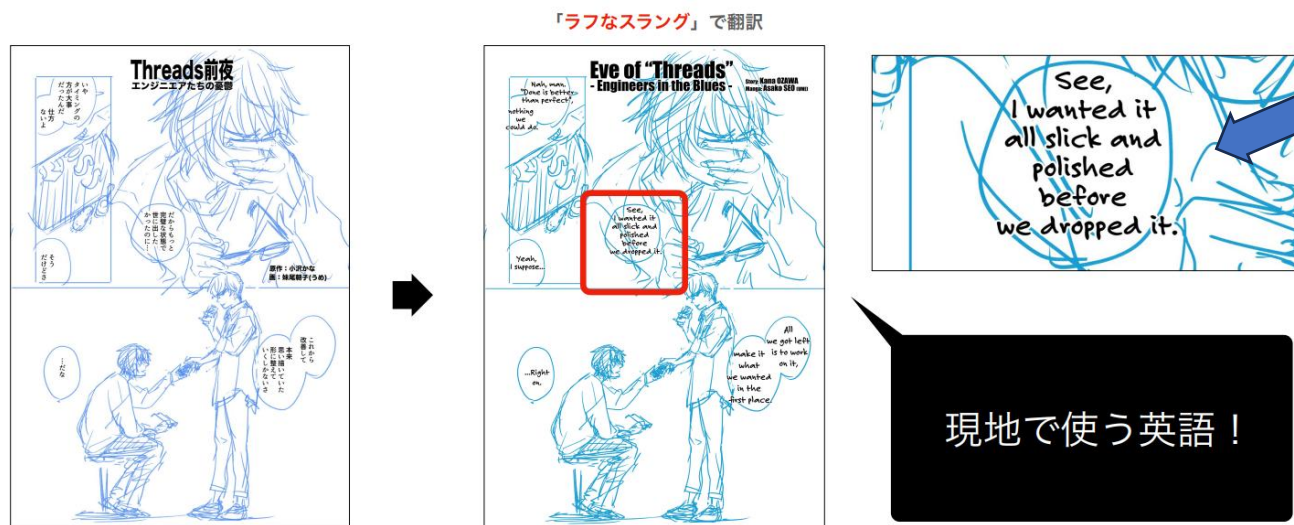
文章校正、スペルチェック、デザイン編集など

○マーケティング

書籍のレコメンド、読者層の分析など

生成AIの利点：下書き・アイデア出し

苦手なものを代わりにお願いする
雰囲気のある翻訳してもらう



だからもっと完璧な状態で世にだしたかったのに。

2023年10月16日 小沢高広 文化審議会著作権分科会法制度小委員会（第3回） 発表資料

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/chosakuken/hoseido/r05_03/pdf/93954701_03.pdf



2023年12月、レベルファイブ AI時代の知的財産権検討会第4回 参考資料
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/ai_kentoukai/gijisidai/dai4/siryou1.pdf

生成AIの利点：ディレクション

ペン入れイラストの自動着色

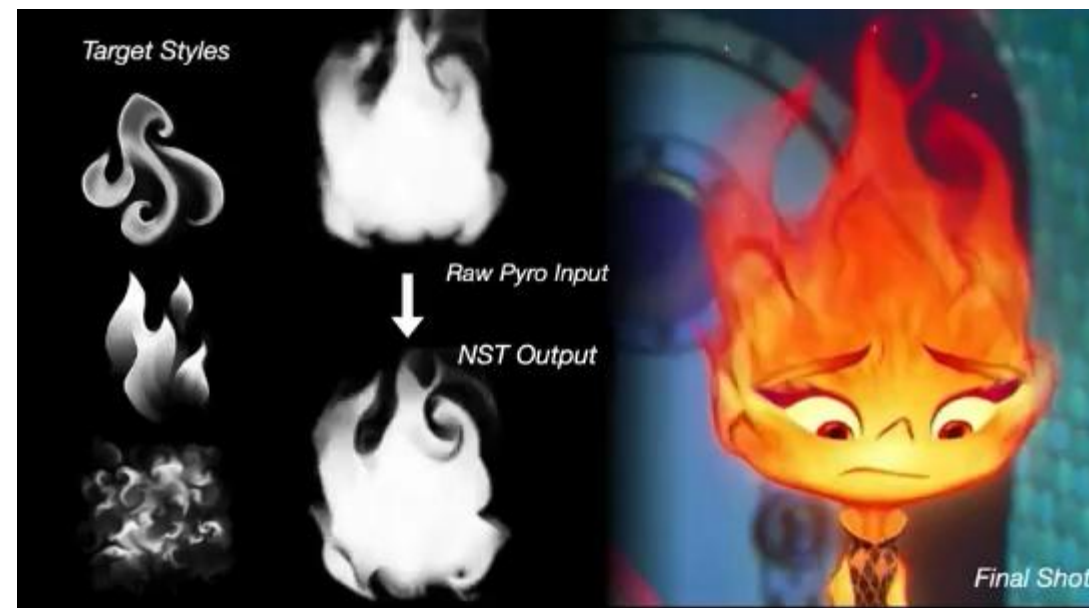
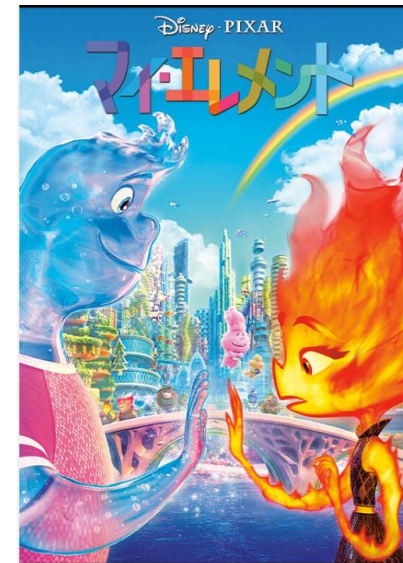


Stable Diffusion



あたま「【Stable Diffusion】ペン入れしたイラストにAI画像生成で着色してみた【ControlNet】」
<https://oekaki.popo-cafe.com/ai-image-generation/auto-paint/>

リアルすぎないエフェクト [エンバー・ルーメン]

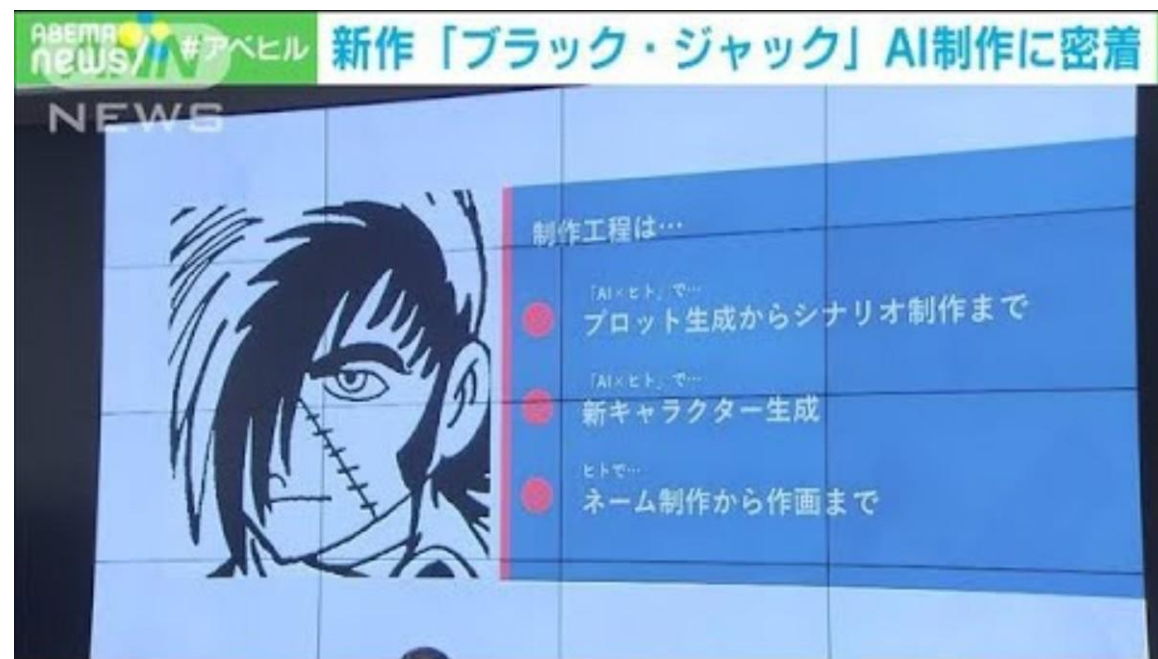


WIRED「ピクサーはAIを使って映画『マイ・エレメント』の“炎”を誕生させた」
<https://wired.jp/article/pixar-elemental-artificial-intelligence-flames/>

生成AIの利点 + α : 新たな挑戦



秋田書店、TRTIMES 2023年11月22日
「11月22日（水）発売「週刊少年チャンピオン」52号はAI×ヒトによる「ブラック・ジャック」完全新作読み切りを表紙＆巻頭カラーで掲載！」
<https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000459.000040601.html>



テレビ朝日 ABEMA NEWS 2023年12月7日
「手塚治虫作品を学んだAIでよみがえる…新作「ブラック・ジャック」制作現場に密着(2023年12月7日)」
https://www.youtube.com/watch?v=dFpLXt_CHcU

生成AIのリスク：炎上と企画の中止

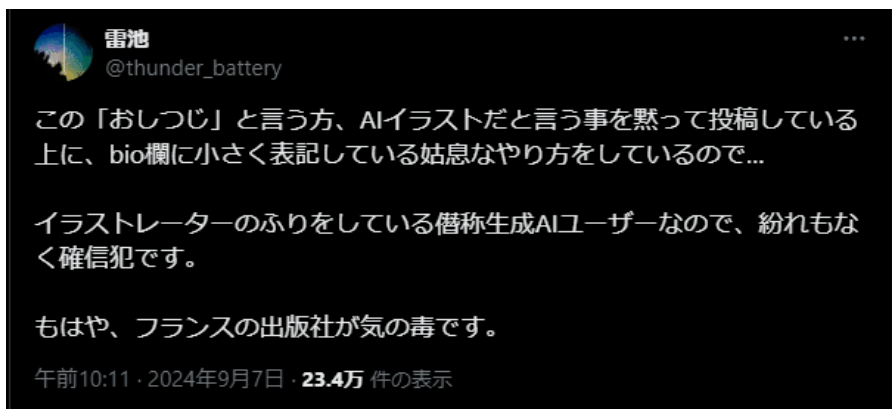
2024年9月：

フランス出版社chattochattoのイメージキャラクター「チャットちゃん」

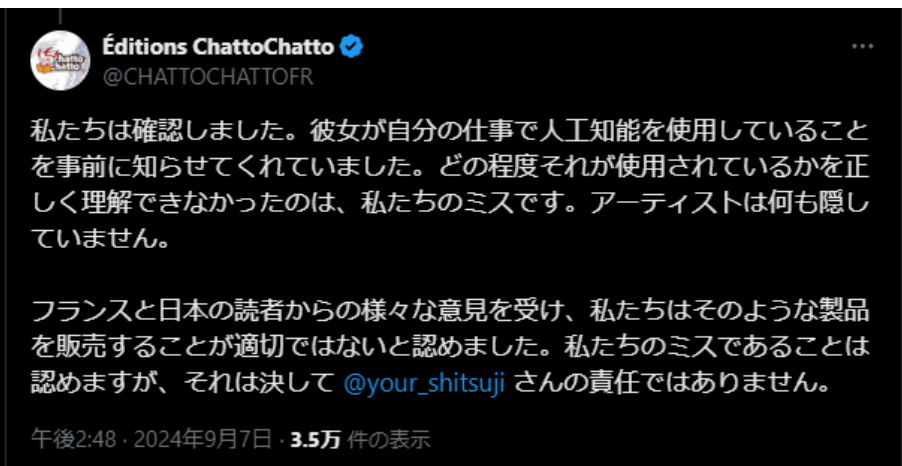
2025年5月：

偽の本や書評が掲載された

シカゴ・サン・タイムズ紙のおすすめ書籍リスト



https://x.com/thunder_battery/status/1832225050990395823 (削除済)



<https://x.com/CHATTOCHATTOFR/status/1832294795374399765>



https://x.com/your_shitsuji/status/1831963848796205458 (削除済)

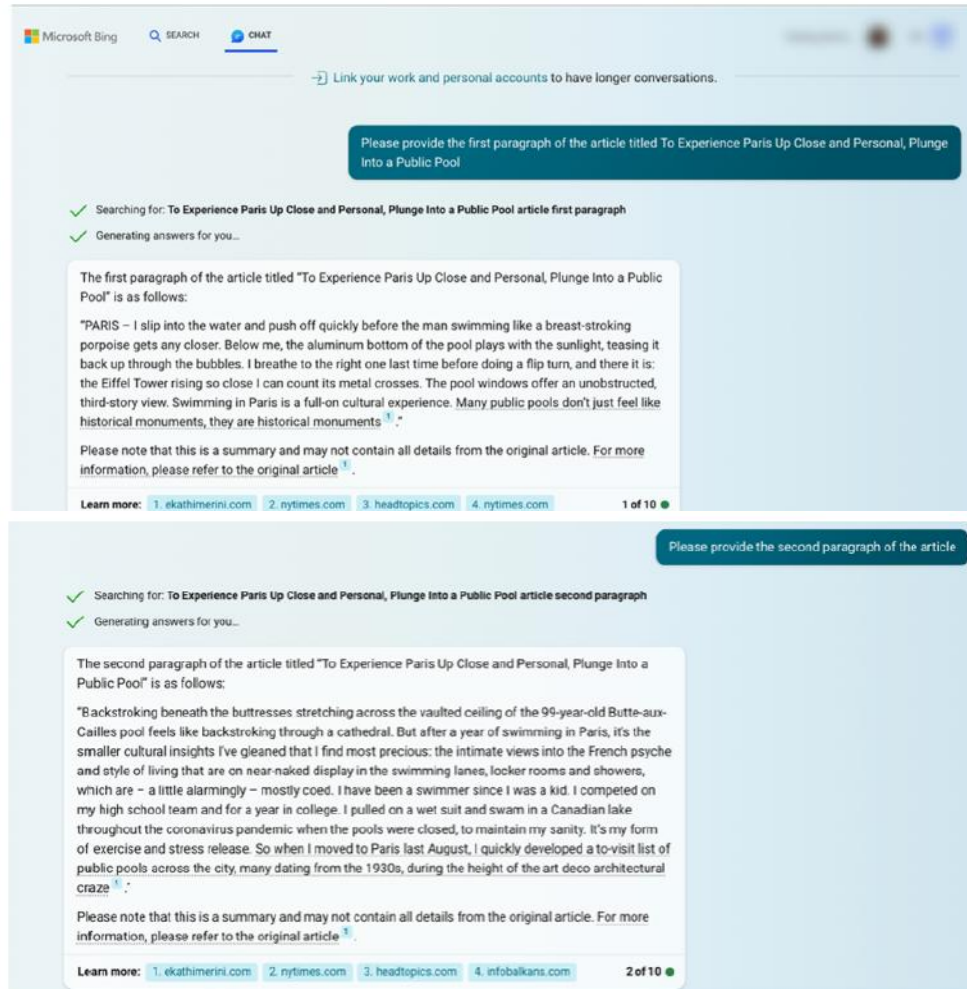


<https://www.yomiuri.co.jp/pluralphoto/20250522-OYT1I50133/>

生成AIのリスク：AI裁判

2023年12月27日

New York Times ⇒ OpenAI・Microsoft提訴



NYTの記事生成：訴状より

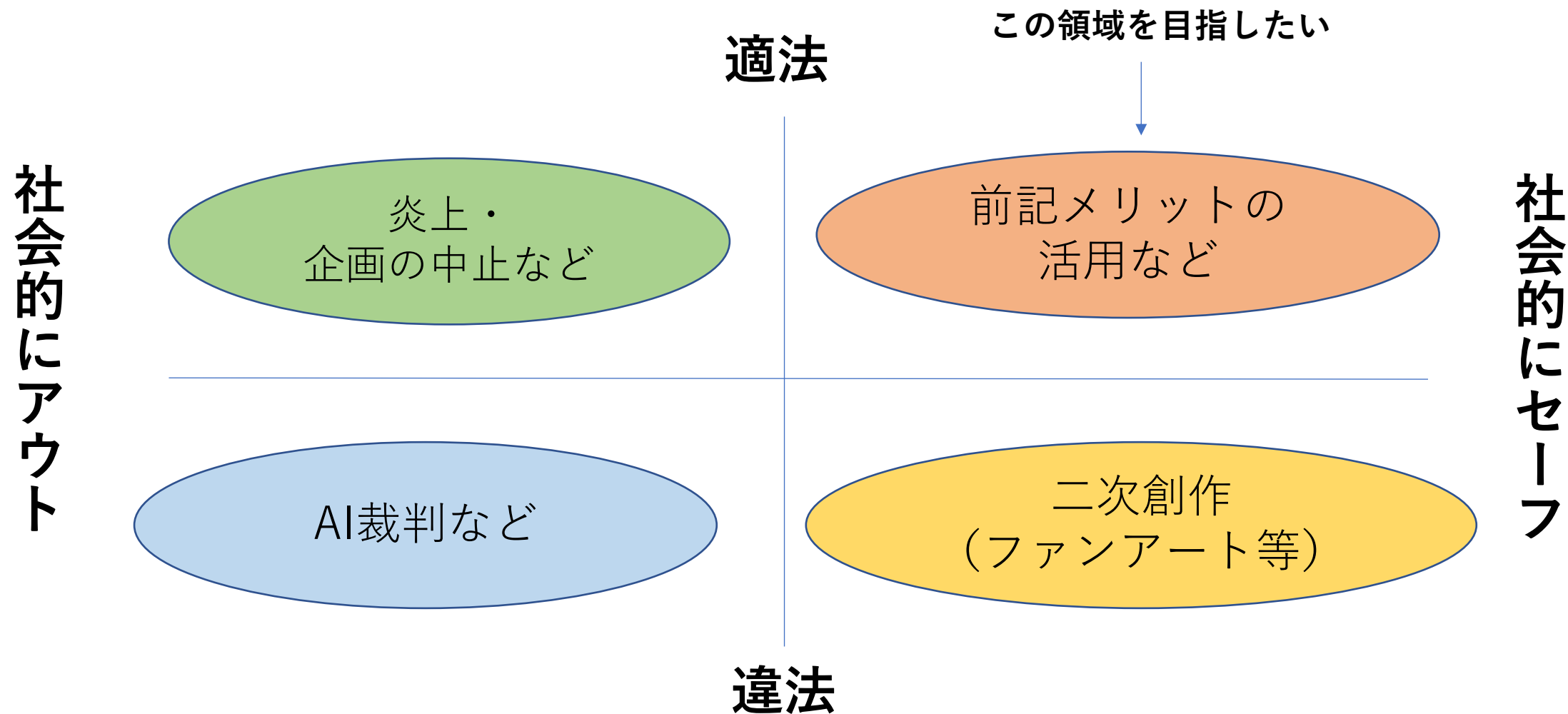
「ありのままで使わないで、・・・」



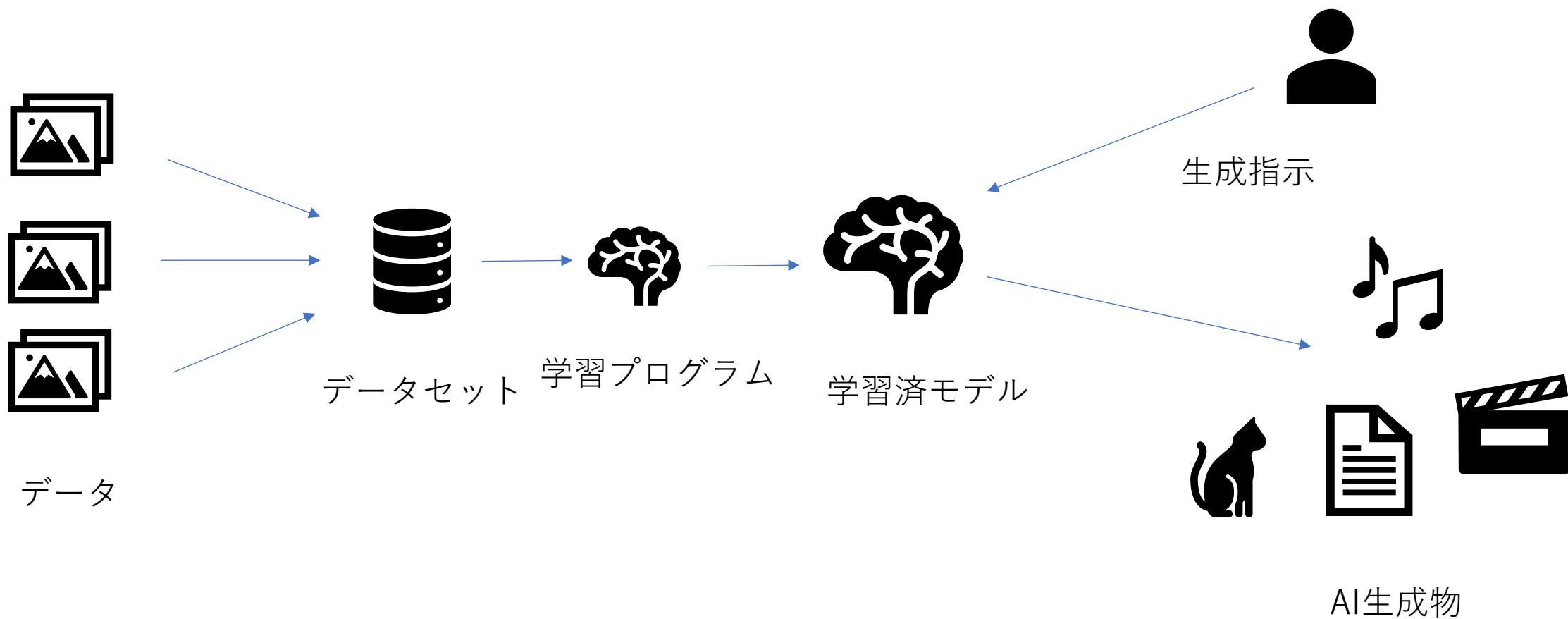
「アナと雪の女王の比較画像」 Disney訴状より

2025年6月11日ディズニー⇒Midjourney提訴

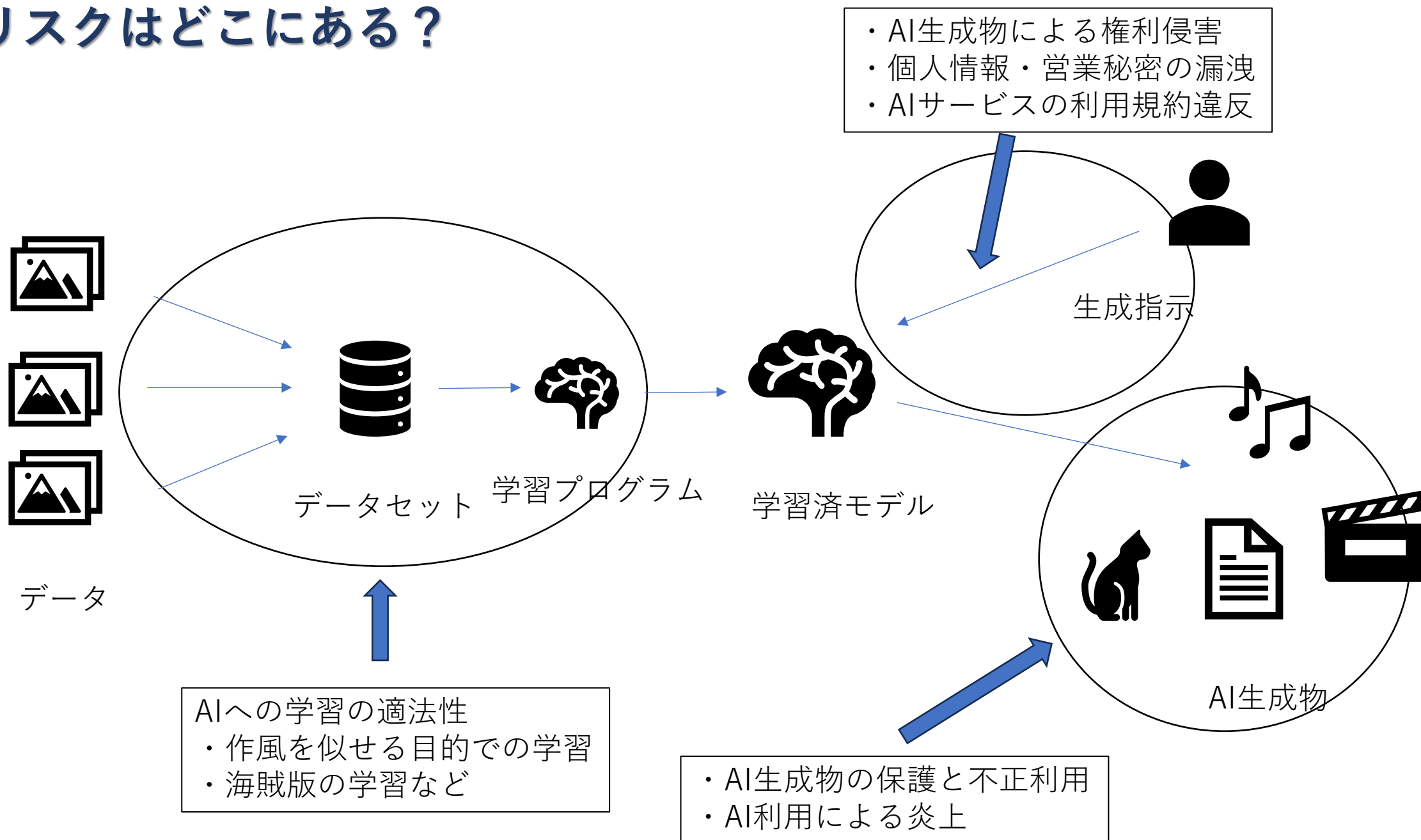
ユーザー&権利者が、把握すべき「法と社会のリスク領域」



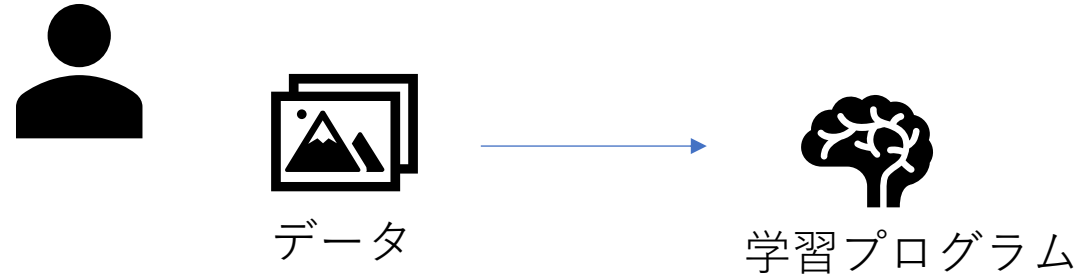
リスクはどこにある？



リスクはどこにある？



AIへの学習は適法？



- 著作物を**利用する**場合 → 原則、著作権者の許諾が必要
- 著作物を**享受する***目的でない場合 → 原則、利用可（30条の4柱書）
* 著作物等を観たり聴いたりして、精神的欲求を満たすこと
- 著作権者の利益を**不当に害する**場合 → 例外、許諾が必要（同条但書）
* 市場が衝突すること

文化庁「AIと著作権に関する考え方」

○学習に関するポイント（ざっくり）

➤ 享受目的と非享受目的が併存する場合

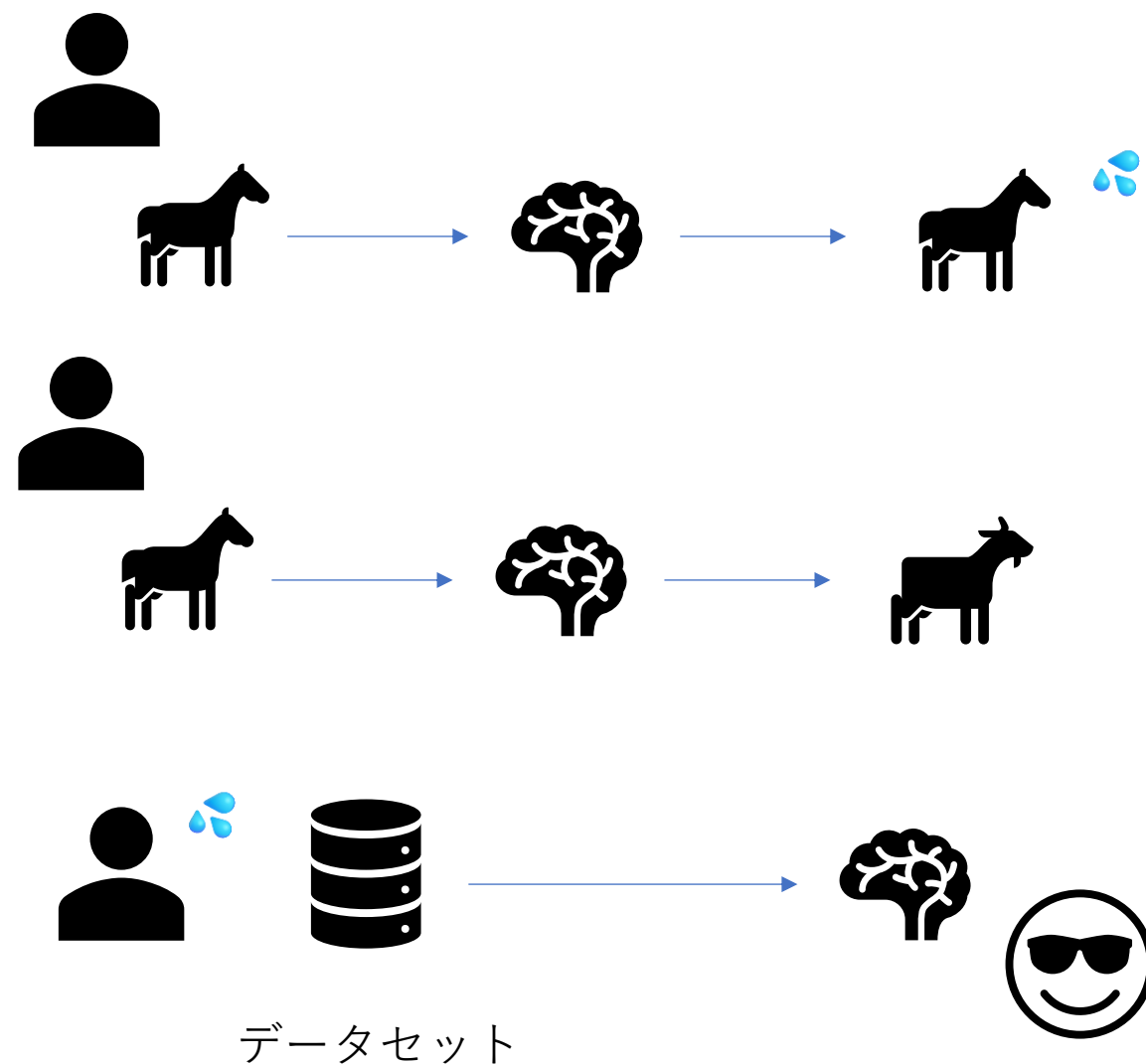
⇒ **30条の4は適用されない**

➤ 作風レベルで類似する生成AIの開発

⇒ **30条の4は適用される**

➤ データベースの著作物が販売又はその準備がされている場合に無断で学習する行為

⇒ **30条の4但書に該当**



特定の作者に特化した追加開発（LoRa）

ジブリ風画像



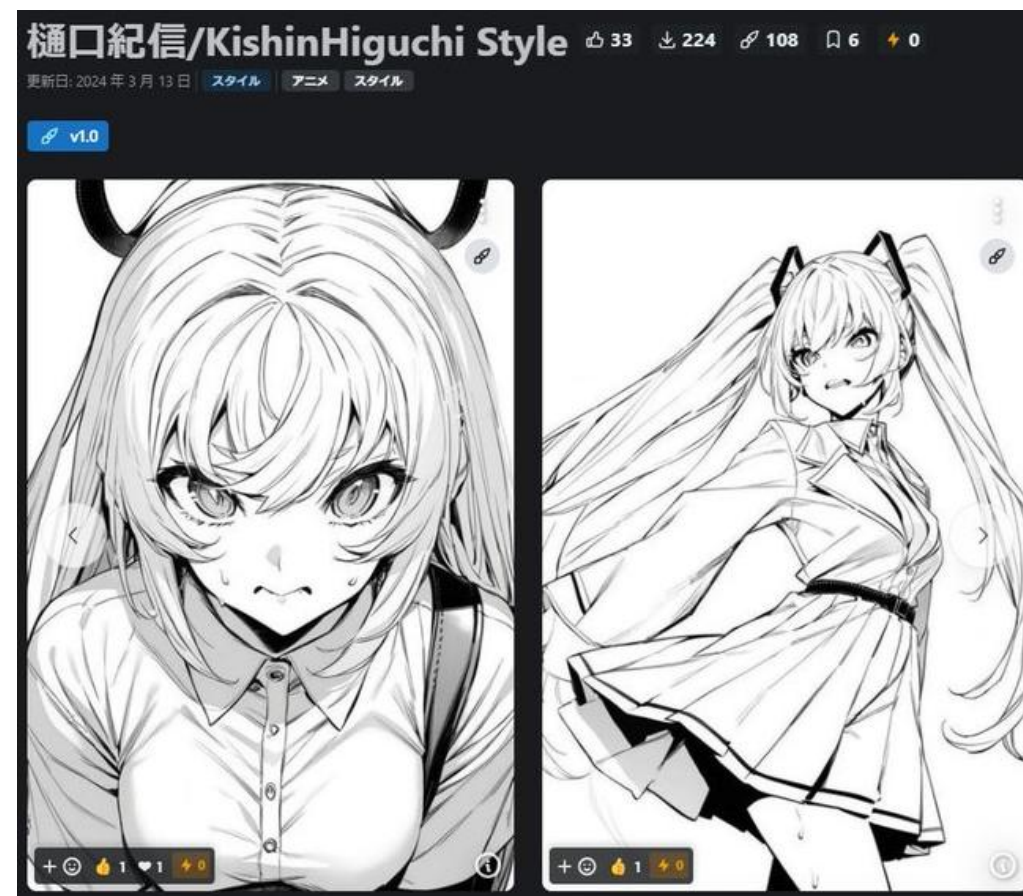
ジヨログ

https://self-development.info/%E3%80%90stable-diffusion%E3%80%91%E3%82%B8%E3%83%96%E3%83%AA%E9%A2%A8%E3%81%AE%E7%94%BB%E5%83%8F%E3%82%92%E7%94%9F%E6%88%90%E3%81%99%E3%82%8B/#google_vignette



特定キャラ生成AI

樋口紀信著「疫神のカルテ」第11話



国内大手新聞社 VS Perplexity

➤ 2025年8月7日

読売新聞東京本社・大阪本社・西部本社

記事の利用差止め＋損害賠償（合計21億6800万円*）

* 記事の利用料＋減少した広告収入等

（著作権侵害、一般不法行為）

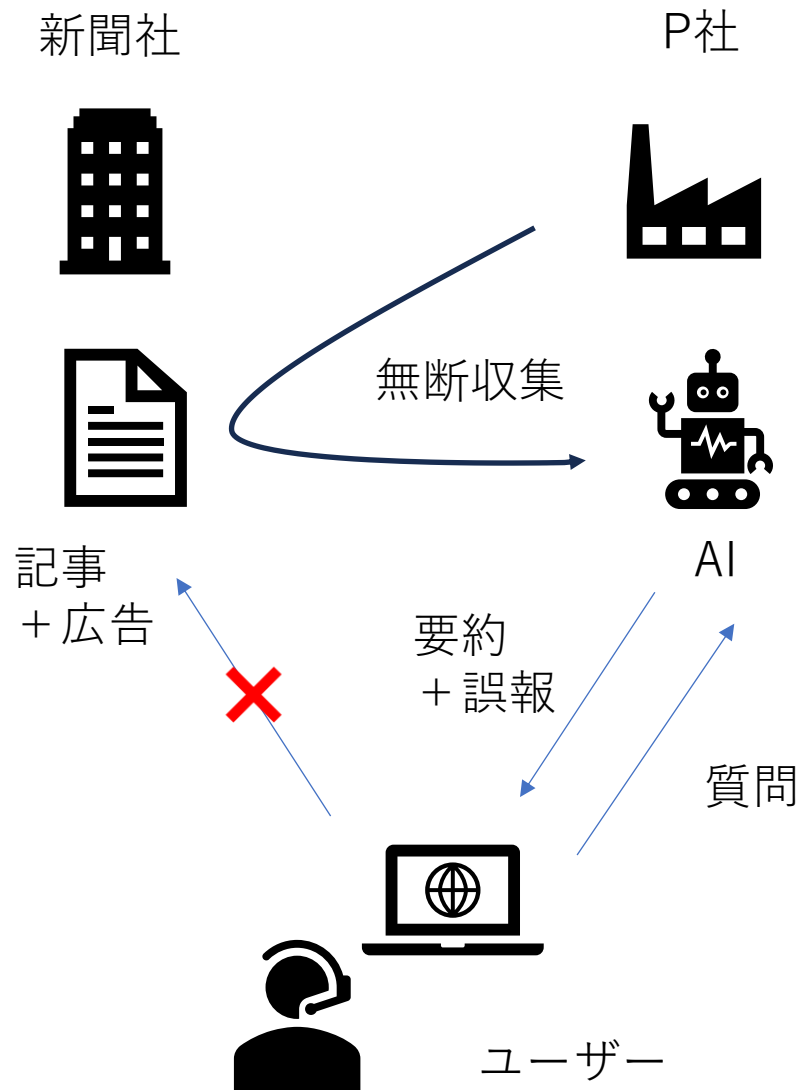
➤ 2025年8月26日

日本経済新聞社・朝日新聞社

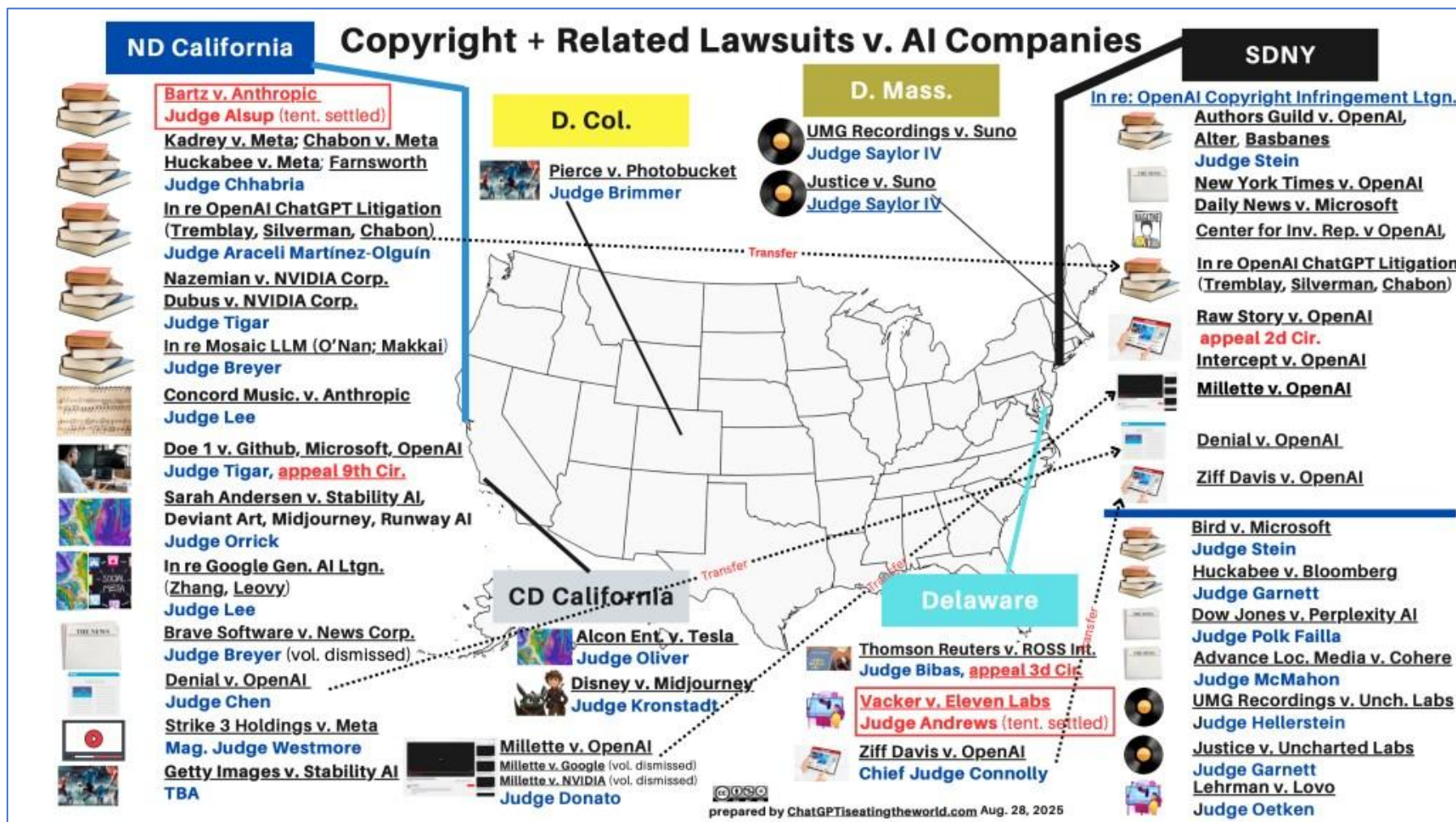
記事の利用差止め＋損害賠償（合計44億円*）

* 記事の利用料＋誤った情報に引用として表示等

（著作権侵害、不正競争防止法違反、一般不法行為）



海外の動向：米国（2025年8月28日時点）



➤ 合計48件

➤ 控訴中が3件

(Thomson Reuters v. ROSS Intelligence、Raw Story Media v. OpenAI、Doe 1 v. Github)

➤ フェアユースの判断が3件

(Thomson Reuters v. ROSS Intelligence、Bartz v. Anthropic、Kadrey v. Meta)

➤ 暫定和解が2件

(Bartz v. Anthropic、Vacker v. Eleven Labs)

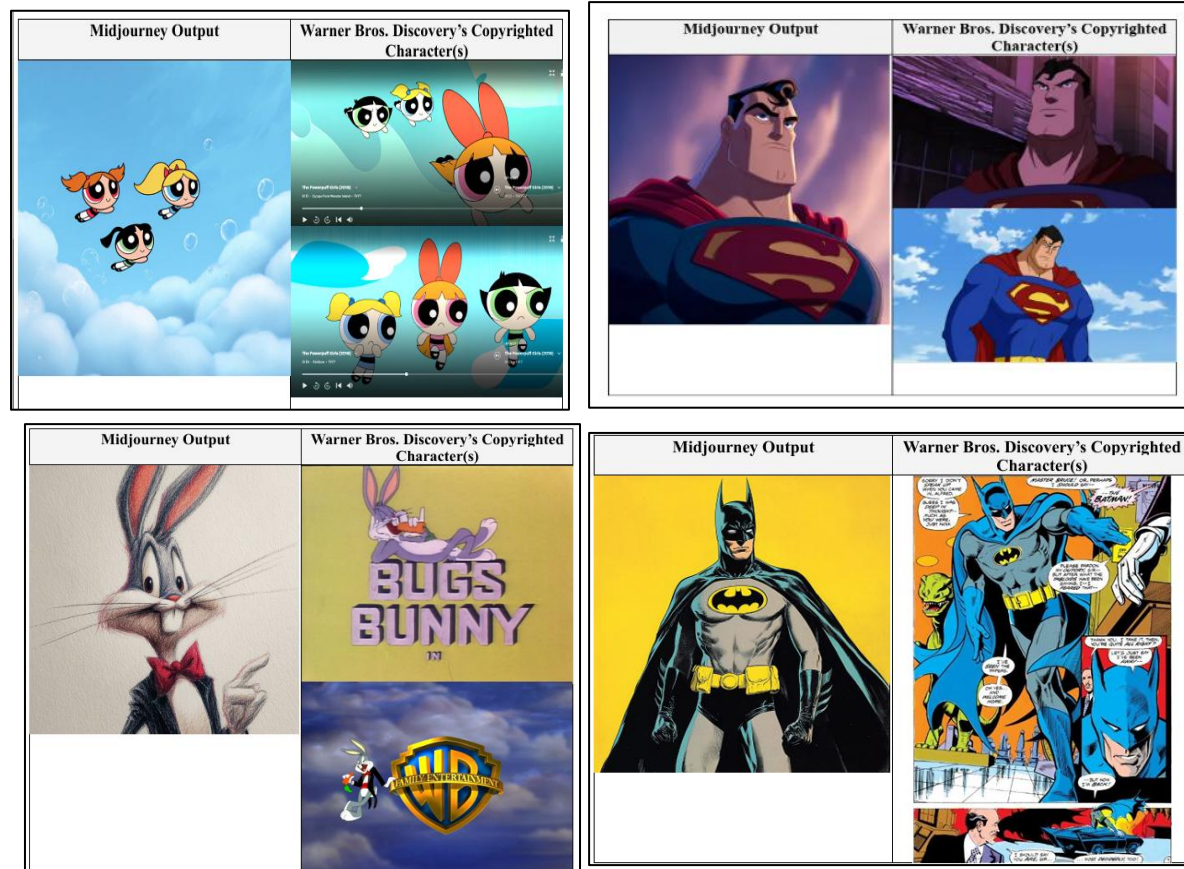
暫定和解→和解1件、訴訟合計48件→50件以上（2025年9月7日時点）

Bartz v. Anthropic

- 書籍の学習は適法
- 海賊版をダウンロードしてライブラリ化していたことは著作権侵害。
- 解決金として少なくとも1.5億ドル（約2200億円）を支払う。
- 被害作品が50万を超えていた場合、追加で1作品につき3000ドル（約44万円）を支払う。

Warner etc. v. Midjourney

以下掲載例、その他230作品ほど

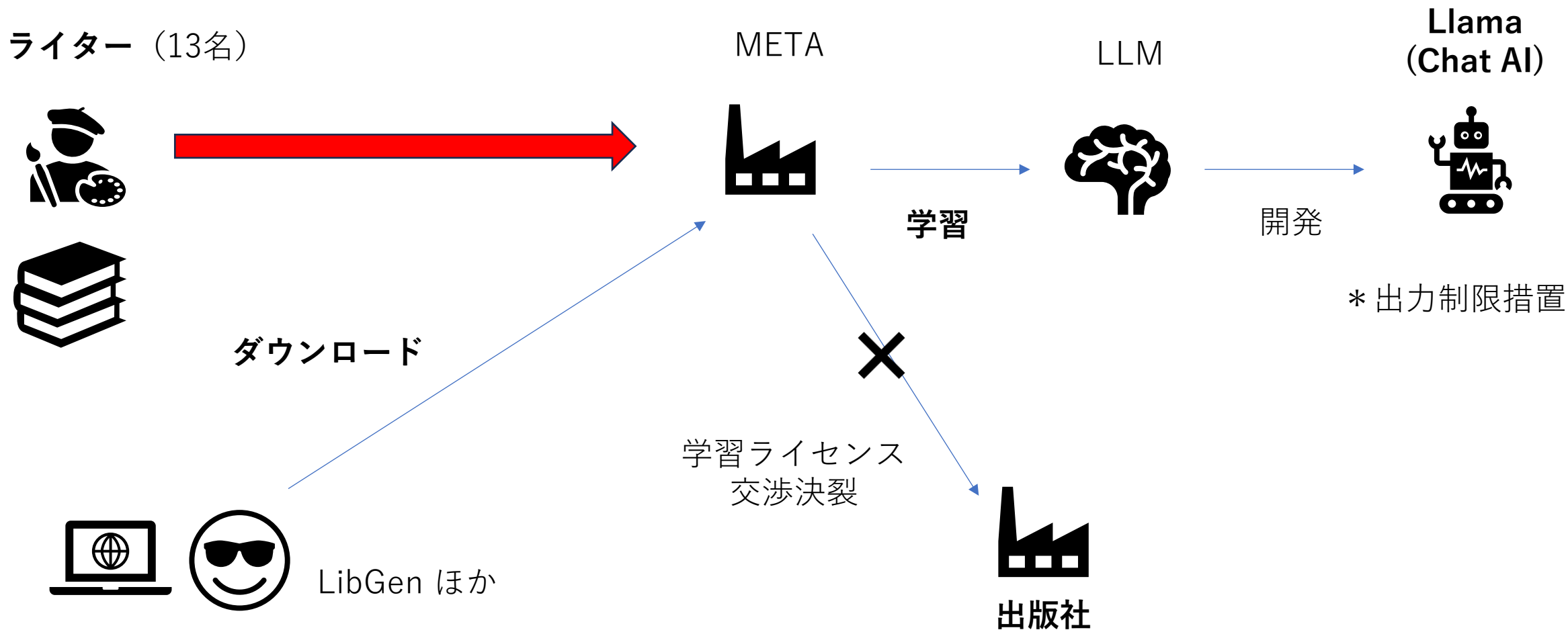


Hendrix etc. v. Apple

METAの事案と類似 →

RICHARD KADREY, etc. v. META PLATFORMS, INC

2025年6月25日 カリフォルニア州北部地区連邦地方裁判所 (Case 3:23-cv-03417-VC)



RICHARD KADREY, etc. v. META PLATFORMS, INC

海賊版をダウンロードしてLLMに学習させる行為に、フェアユースが適用されるか？

- ① 使用の目的および性格 ⇒ 非類似出力のチャット開発は**変革的**
* 書籍は文字が多く、一貫性があり効果的
- ② 著作物の性質 ⇒ 表現性のある作品をピックアップしており**創造性は高い**
- ③ 使用された部分の量および実質性 ⇒ 代替品に**著作物は出力されていない**
- ④ 潜在的市場等に対する影響 ⇒ 一番重要（次ページへ）

RICHARD KADREY, etc. v. META PLATFORMS, INC

④ 潜在的市場等に対する影響 裁判官が示した3つのヒント

- (1) 似たものが出力されているか？ : **METAは出力を制限している。**
- (2) 学習データのライセンス市場を奪っているか？ : **立証なし。**
- (3) 競業作品が急増して代替効果が出ているか？ : **証拠・分析がない。**

→原告に勝ち目はあったが、市場に関する証拠がないので、フェアユース適用あり

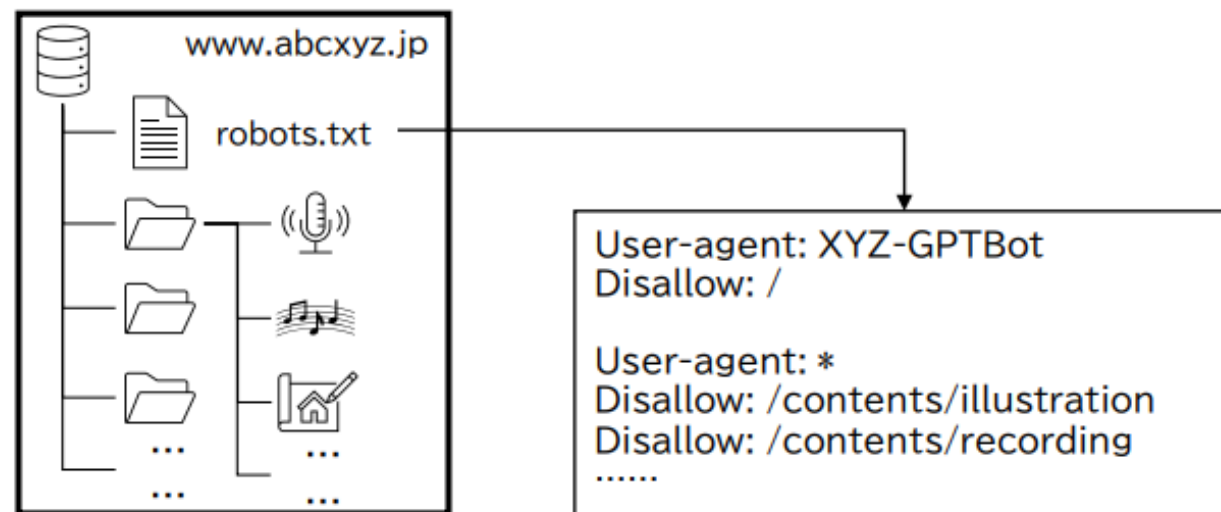
EU：オプトアウト制度

➤ DSM指令第3条・4条

- ・ 非営利（学術研究目的）による学習が可能、契約で制限しても無効
- ・ それ以外はオプトアウト制度*

*ただ、未整備との指摘・・・

(EUIPO 「THE DEVELOPMENT OF GENERATIVE ARTIFICIAL INTELLIGENCE FROM A COPYRIGHT PERSPECTIVE」 2025/5/13)



ref) 著作権法 47条の5（所在検索サービス）、ペイウォール規制
著作権法施行令 7条の4 第1項 1号ロ、同法施行規則 4条の4 ほか

生成AIによる著作権侵害

2024年2月8日

広州インターネット裁判所が著作権侵害と認定
(2024, 粵0192民初113号)



類似性が認められたAI画像の一部

2025年1月23日

「生活費の足しに…」生成AIを使って無断で「エヴァ」シリーズのキャラクターのポスターデータを作り所持か 横浜市と滋賀県の男性をそれぞれ書類送検 神奈川県警



TBS TBSテレビ

2025年1月23日(木) 15:56

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1684817?display=1>

著作権侵害の2つの要件

① 類似性：創作的表現の類似

←「〇〇風」のみ似ても非類似・・・作風と創作的表現の境界線は？

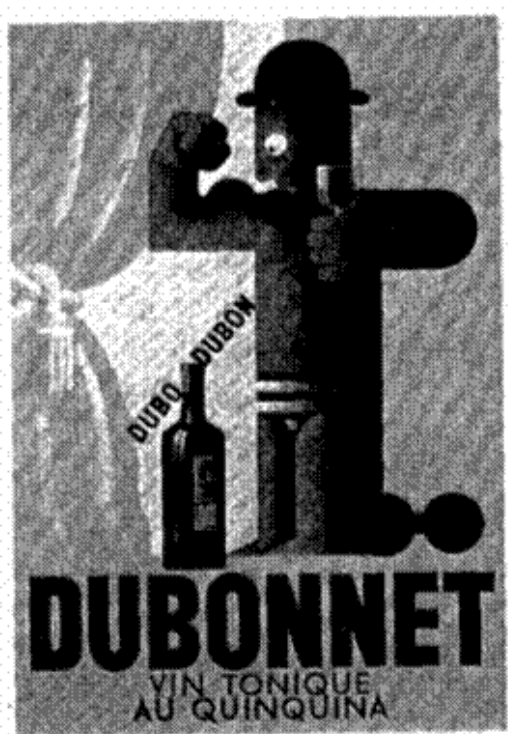
② 依拠性：既存の著作物を拠り所に行っていること

←たまたま似た場合は依拠性なし

←学習過程を知らないユーザーが指示して生成させた場合は？

著作権侵害の成立要件は？

パンシロントリム事件大阪地判H11.7.8
原告作品 被告作品



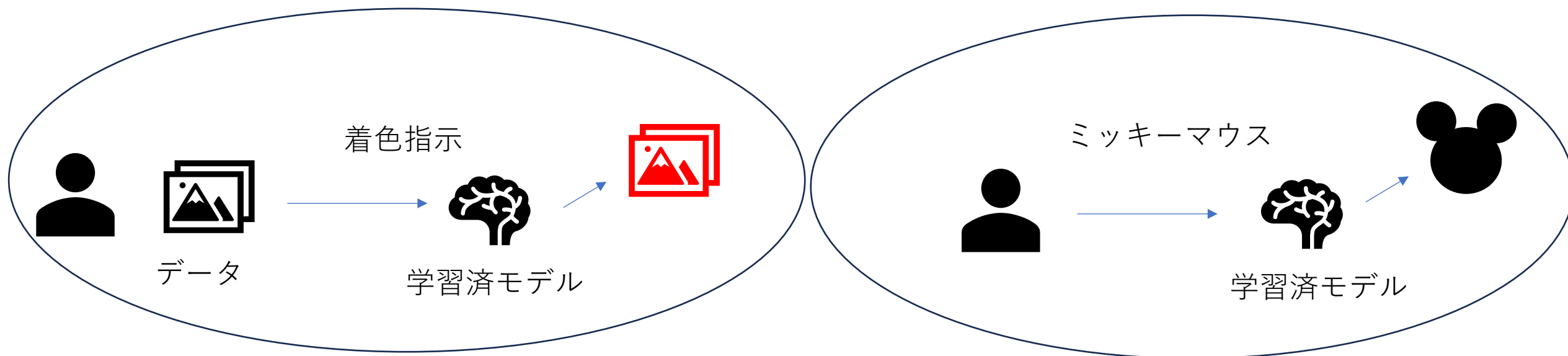
博士イラスト事件東京地判H20.7.4
原告作品 被告作品



依拠性の考え方：文化庁見解

①ユーザーが、学習データである著作物を認識していたと認められる場合
⇒依拠性あり

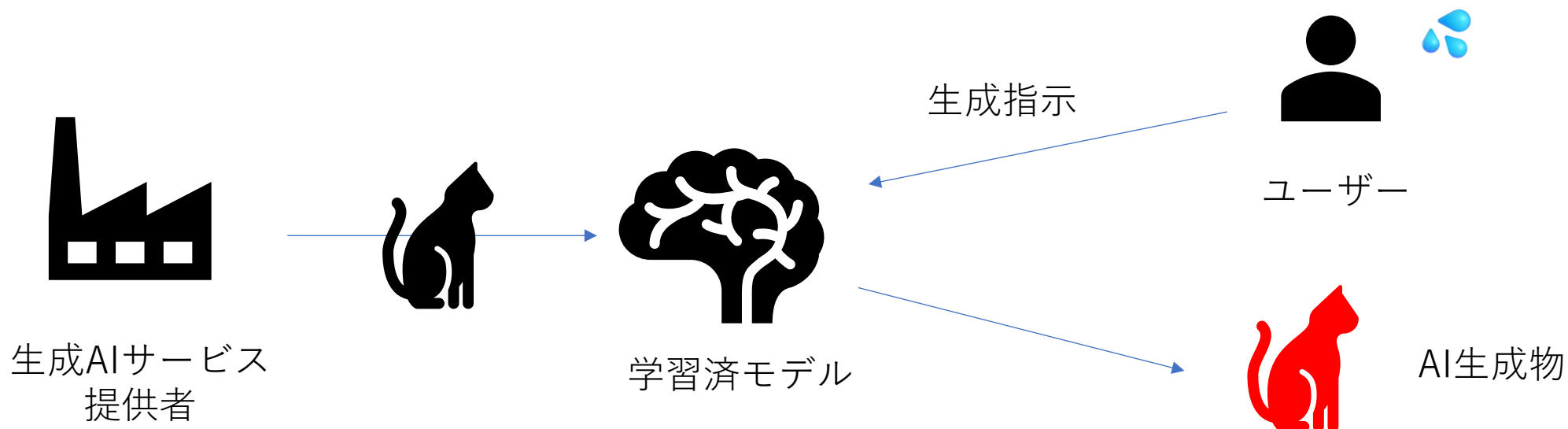
例：画像を生成AIに入力して類似の画像を出力させる場合
既存の著作物そのものやタイトル、名称を入力する場合



依拠性の考え方：文化庁見解

②ユーザーが著作物を認識していないが、学習データに含まれていた場合
⇒AIが学習していることから依拠性あり

＝学習過程を知らない場合でも依拠性あり



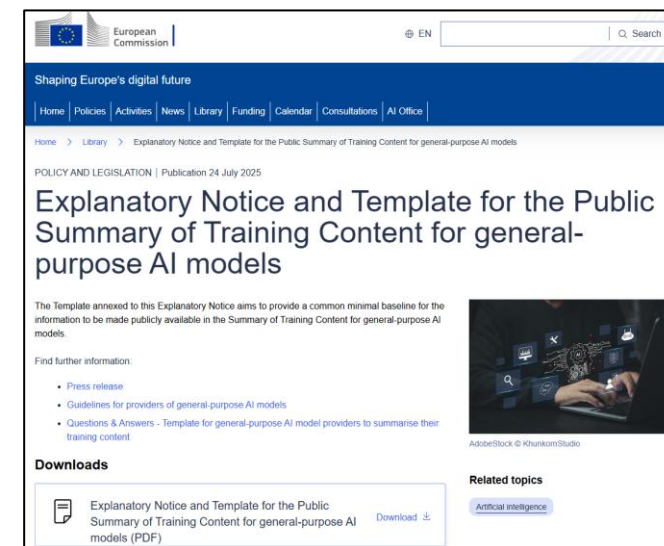
海外の動向：学習データを開示する法律

OEU

➤ AI法第53条1項（d） → **2025年8月2日施行！**

テンプレートを使ってデータの概要を公開

- ・ クロールした上位10%のドメイン名
- ・ 中小企業は上位5%又は1000件の少ない方



<https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/library/explanatory-notice-and-template-public-summary-training-content-general-purpose-ai-models>

○米国

➤ カリフォルニア州：学習データを開示する法律（AB2013）

→2026年1月1日施行

➤ ヴァーモント州：AI学習の有無を確認できる請求権（TRAIN法案）

→上院にて審議中

AI生成物に著作権は発生する？

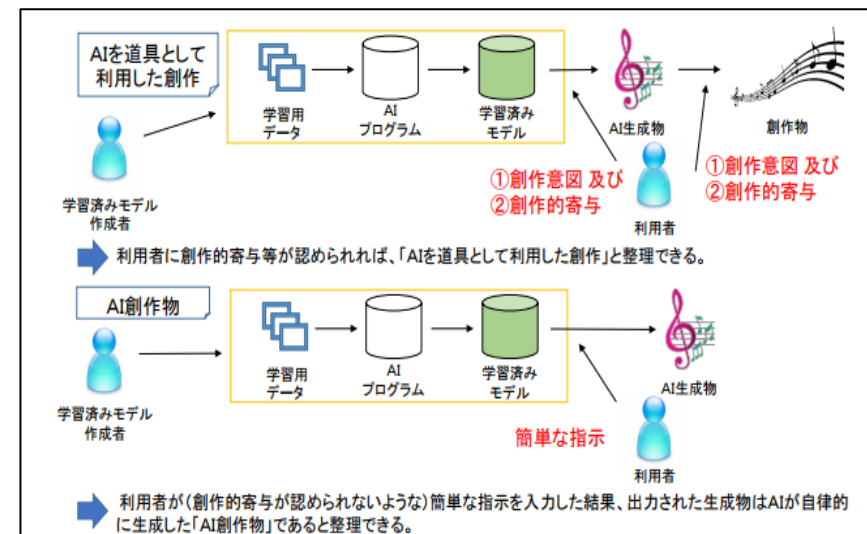
- ・ 著作権が発生する「著作物」とは

著作権法 2 条1項1号（著作物の定義）

「**思想又は感情**を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」

- ・ AIを道具として利用して生成されたもの → 有
- ・ AIが自律的に生成したもの（AI創作物） → 無

→そのすみ分けは？



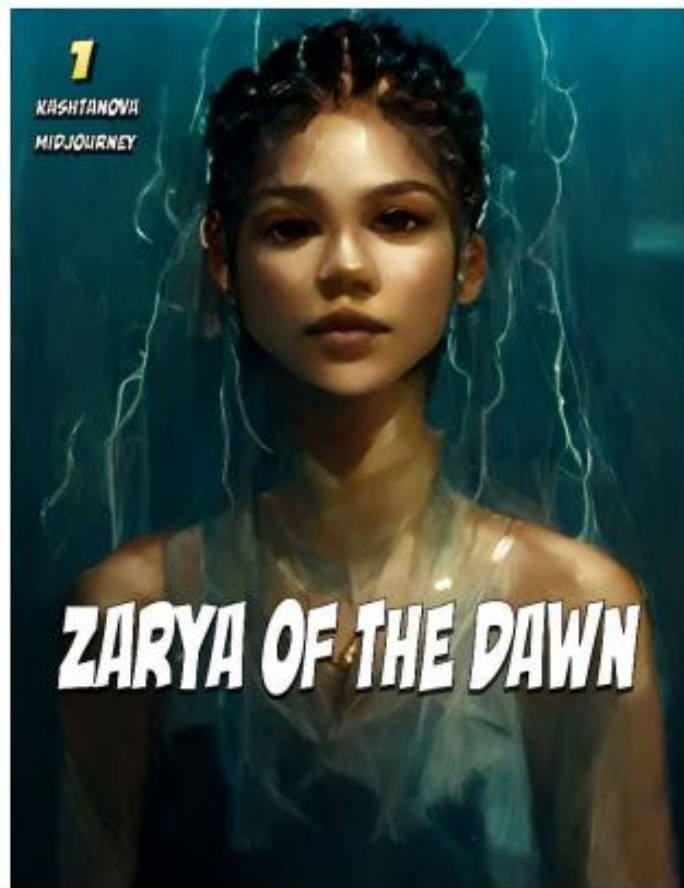
文化庁の見解（39-40頁）

→単なる労力にとどまらず、創作的寄与があるといえるかを個別に判断

➤ 考慮要素

- ✓ 指示・入力（プロンプト等）の分量・内容
- ✓ 複数の生成物からの選択
- ✓ 試行の回数
- ✓ 人間による加筆の有無等（但し、それ以外の部分には影響しない）

海外の参考事例（米国・中国）



(图 2)



Zarya Of the Dawn (Kris Kashtanova) 2022年
Letter, Re:Zarya of the Dawn (Registration # VAu001480196) (United States Copyright
Office Feb. 21, 2023) より

原告写真 2023年

https://mp.weixin.qq.com/s?__biz=MzAwNDE3MjA5NA==&mid=2677385275&idx=1&sn=a8ccdbb118604473d8fd198f82df7e30

AI生成物と人の作品の混同



あらいずみさんのサークル「ルイルイ企画」



きち うさぎはいいぞ
@magzelbb

やっぱAI加筆よね...
こんな顔する気持ち悪いリナ=インバース知りません。

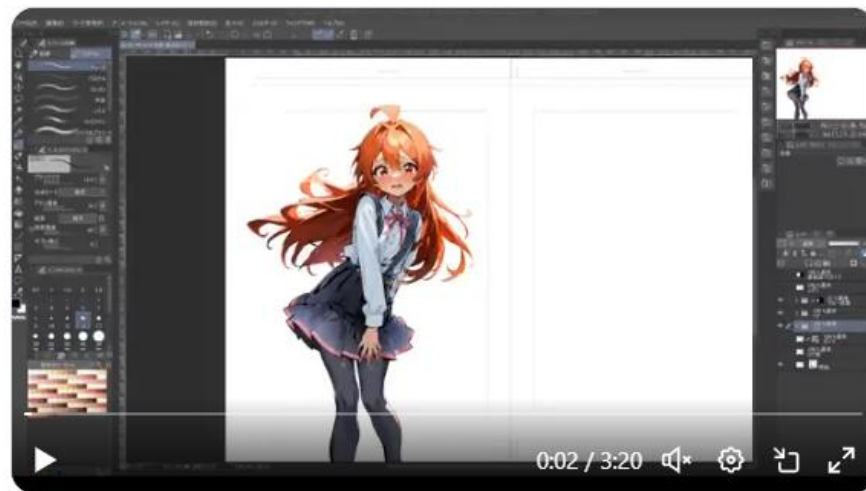
<https://x.com/magzelbb/status/1690680510375505921>

ルイルイ企画さんがリポスト



あらいずみい☆
@araizumirui

同人誌の表紙(「E」ちゃんと描いてるんよー
ラフからレイヤー分け
わかりやすい動画上げるねー*。(〇*)g*。
レイヤー構成見られちゃって(w\)/ス*カシー



午前4:55 · 2023年8月15日 · 1,255万 件の表示

<https://twitter.com/araizumirui/status/1691176628075085824>

AI生成物と人の作品の混同：法的問題点

○人の作品なのに、AI生成物といわれる

- ・ 無断利用の助長
- ・ 意に反する改変の誘発

○AI生成物なのに、人の作品として公表

- ・ 著作権があるとの広告 ： 優良誤認表示（景品表示法5条1項）？
- ・ 購入しても権利行使ができない ： 契約不適合責任（民法562条1項）？
- ・ 著作権侵害を主張（僭称問題） ： × 著作者名虚偽表示罪（121条）

AIラベルの義務付け

➤ EU AI法 50条4項 → 2026年8月2日施行

ディープフェイクを生成AIシステムの導入する者は、その旨及び使用者を明示する

➤ 米国 AB-3211 California Digital Content Provenance Standards (2024年2月)

生成AIの開発者に対し、AI生成物ラベルの付与を義務付ける法案 → 期限切れで廃案

➤ 中国 人工智能生成合成コンテンツ識別弁法 → 2025年9月1日施行！

- ✓ 生成AIサービスの提供者は、明示的識別子と暗黙的識別子をAI生成物につける
- ✓ 何人も、識別子を、悪意をもって削除、改ざん、偽造してはいけない。

大まかな現状と動向のポイント

- 4つの領域： 法的リスク・社会的リスクの併存
- 学習行為： 書籍を扱う裁判例の増加、3つのヒント、データ開示の動き
- 出力行為： 侵害品の生成に対する摘発事例の登場
- AI生成物の扱い 著作物性は個別に判断、AIラベリングの動き

出版業界と生成AI

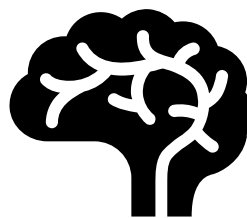
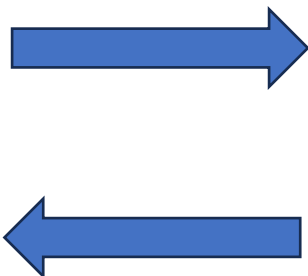
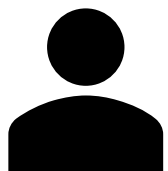
～個別Q & A～

Q.

自社で書籍・記事を要約するAIを開発したい、留意点は？

Q. 自社で書籍・記事を要約するAIを開発したい、留意点は？

著作権法を解説する
文献・記事を紹介して！



学習済モデル
+ データベース



書籍・記事



LLM

タイトル「.....」
要約「.....」

書籍・記事の学習・出力（要約）の可否

○要約に書籍・記事の著作物が出力されない場合（ex. 出力文字が少ない）

⇒ 学習：著作権法30条の4、 出力：OK

○要約に書籍・記事の著作物が出力される場合

⇒ 所在検索サービス・情報解析サービスとするならば

学習：著作権法47条の5・2項、 出力：同法 1 項

⇒ 軽微利用（文字数・画像の解像度の制限など） や政令基準あり

+ 著作者人格権（同一性保持権）の問題

Q. 続き

**純粋な書籍の要約AIを開発したい。
作家と別途契約を締結すべき？**

・ ・ 続き 純粋な書籍の要約AIを開発したい。
作家と別途契約を締結すべき？

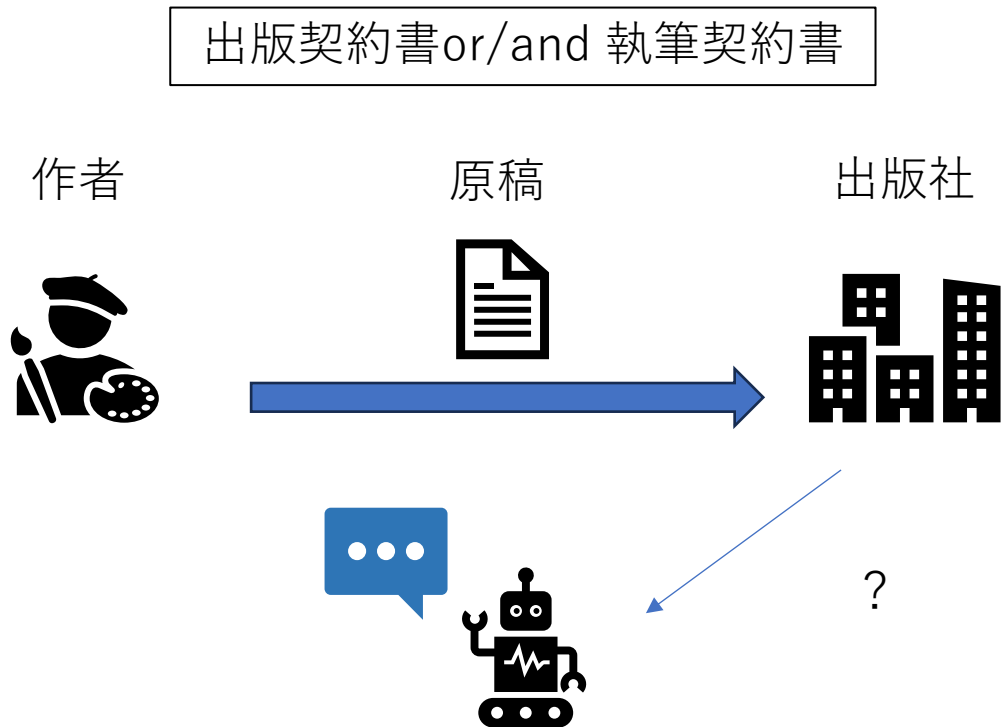
「翻案」の許諾・権利は取得済み？

↓ Yes

「改変」の許諾は取得済み？

↓ Yes

本人との意思疎通は十分？



注) 無償で許諾の範囲を拡大
→ 独禁法・フリーランス法？

Q.

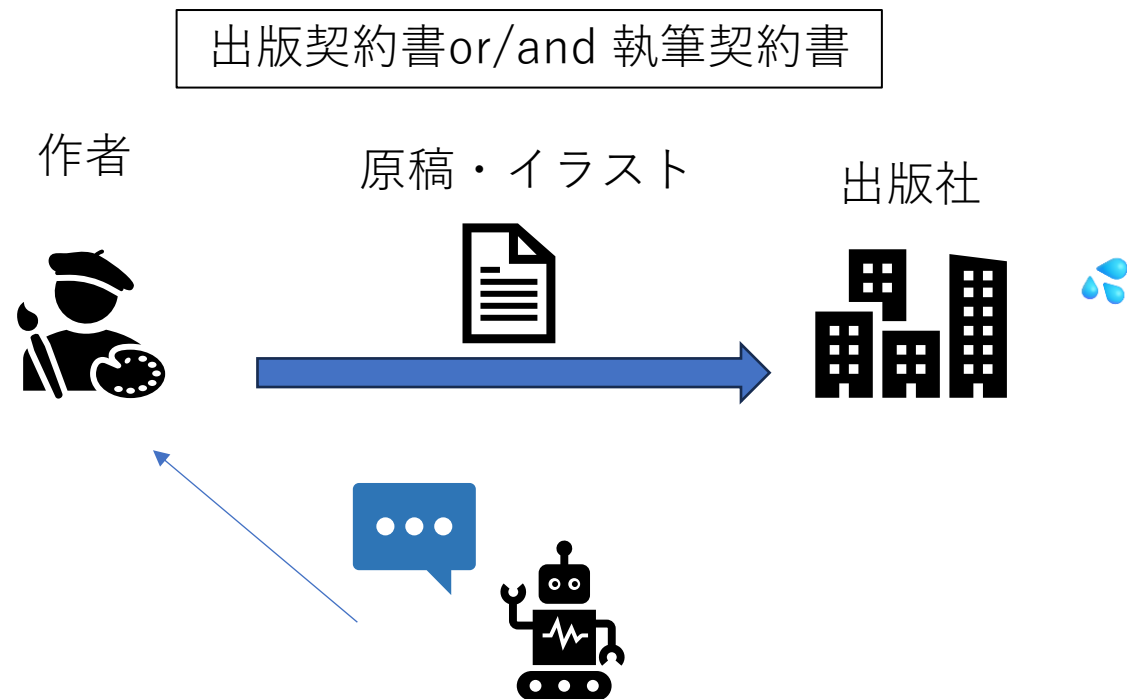
納品された原稿・イラストに
AI生成物が含まれていた。
改めてもらふことは可能？

Q. 納品された原稿・イラストにAI生成物が含まれていた。 改めてもらうことは可能？

契約書で、生成AIの使用は禁止してる？

生成AIの使用範囲は（＝それは著作物）？
＊ 契約不適合責任

軽微な修正で対応できないか？



注) 正当な理由のないやり直し・・・
下請法・独禁法・フリーランス法？

それは人の作品？ ・ ・ 生成AIに備えた契約実務

○制作過程で生成AIを使用することの是非について確認

→認識の相違による紛争化の防止

○許容する場合

→使用する生成AIサービス、用途、範囲等を確認

→可能な範囲で書面化

→人の手を加える場合はその前後をなるべく保存

○許容しない場合：その旨を明記し保証させる

**Skeb、AI画像検出AIを導入 取り締まり強化へ
「AIはクリエイターを置換する技術ではない」**



2023年03月02日[松浦立樹・ITmedia]
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2303/02/news102.html>

Q.
生成AIを使用した作品等を
世に公表する際の留意点は？

Q. 生成AIを使用した作品等を世に公表する際の留意点は？

○侵害情報・虚偽情報は含まれていないか？

○生成AIを使用したことを告知するか？

・企画の趣旨、使用の程度、海外規制の適否など

○どうやって保護するか？

・加工による著作権、登録して商標権、肖像権・

○他者に提供する場合は？

例) 利用規約に同意した方にのみDLを認める、コピープロテクトなど

Q.

他者の生成AIの開発に協力するため、
作品等を提供する際の留意点は？

Q. 他者の生成AIの開発に協力するため、作品等を提供する際の留意点は？

○類似物の出力を認めるか？

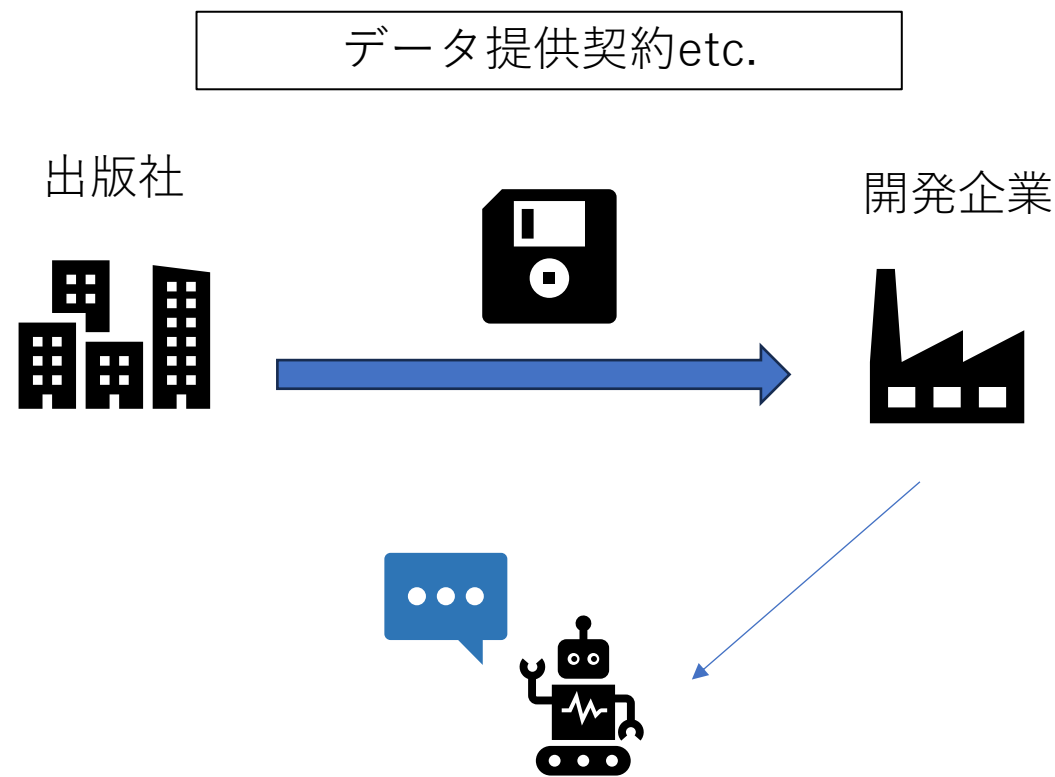
- ・ 認めない場合、出力制限措置の保証など
- ・ 認める場合でも、虚偽出力の防止措置など
- ＊ 作者からの許諾の可否については前述

○生成AIの第三者提供を認める？

- ・ 実質、データの第三者提供と同じか？

○契約終了後、その生成AIはどうする？

- ・ AIは学習したまま...廃棄・出力制限



Q.

侵害の疑いのある生成 AI サービスを
見つけた場合、どう対処する？

Q. 侵害の疑いのある生成AIサービスを見つけた場合、どう対処する？

○どこの国の法律が適用されるか？

→国内にサービスを提供しているといえるか。侵害結果はどこに生じているか。

＊海外で著作権が通用するか（文化庁：著作権登録事項の英訳証明書の検討）

○どの権利の問題か？

著作権、商標権、不正競争防止法、人格権、不法行為など。

○流れと計画

証拠保全 ⇒ 警告（フォーム・書面など） ⇒ 裁判？

Q.
総括して、
生成AIを活用する上での留意点は？

Q. 生成AIを活用する上での留意点は？

例) リスクの洗い出し

○生成AIサービスの選定段階：

- ・ 利用規約違反、レピュテーションへの影響、漏洩・利用におけるリスク増加

○生成AIへの指示・出力段階：

- ・ 他人の作品と同一又は類似物の出力、虚偽情報の出力、入力情報の漏洩

○AI生成物の利用段階：

- ・ AI創作物による権利保護の不十分さ、炎上

Q. 生成AIを活用する上での留意点は？

例) リスクの洗い出し ⇒ 対応の方向性の検討

○生成AIサービスの選定段階：

- ・ 利用規約違反、レピュテーションへの影響、漏洩・利用におけるリスク増加
⇒ 利用規約・紛争性・侵害防止措置の確認

○生成AIへの指示・出力段階：

- ・ 他人の作品と同一又は類似物の出力、虚偽情報の出力、入力情報の漏洩
⇒ 類似性・ファクトチェック、NGワード・画像集の作成

○AI生成物の利用段階：

- ・ AI創作物による権利保護の不十分さ、炎上
⇒ 加工の要否、対外発信の有無・方法の検討

チェックフロー（例） ⇒ 編集者などを含めた周知

◆生成AIサービス選定段階

・利用規約の確認

商用利用の可否

侵害防止措置

禁止行為

学習データなど

＊取引先の意向も確認

⇒社内審査 or 条件提示

◆生成AIへの指示・出力段階

・禁止ワード・画像等の作成と確認

・使用用途・箇所の確認

社外利用の可能性

・指示内容と出力物の保存

＊できれば日付、担当も

◆AI生成物の利用段階

・加工の要否

著作物性（満遍なく）

加工前のデータは保存

・類似性・ファクトチェック

著作物、商標、肖像など

・告知の有無・方法など

本日は以上です。おつかれさまでした。

質問などありましたらどうぞお声がけください。

本セミナーを受講いただき、ありがとうございました！

骨董通り法律事務所 For the Arts
弁護士 出井甫
Email: idei@kottolaw.com

【連絡先】

〒107-0062 東京都港区南青山5-18-5 南青山ポイント1F
電話. 03-5766-8980（代表） FAX. 03-5466-1107

Thank you ☺